

ひでお行動

Vol. 30

9月1日

事務所にて当面の日程調整はじめ事務整理に追われる。先の視察先、バンコクでお世話になったジェットロ井上さんから「漬物」の件でFXと電話が入る。早速、漬物M会社の社長と視察内容を報告し漬物を海外販路計画について伺う。課題は「朝つけ」商品の為、賞味期間9日間しかない事で、それをどうクリアしていくか検討している処である。と現状を社長、担当部長から聞く。是非、研究開発を進め日本食にはなくてはならない漬物を海外に広めて頂きたい事をお願いする。

☆遊佐中央カントリーエレベーター竣工

40年前から生活クラブ生協はじめ消費者と一体に大地の恵みに感謝しながら、コメづくりを追及している遊佐町農家が待望していた「カントリーエレベーター」が完成し今秋から稼動する。この施設は全国初めてソーラー発電システムを採用し、美味しい米が更に自然乾燥で調整した米のように付加価値がつくと期待される。この施設を完成させた多くの関係者の皆さんに感謝したい。

9月2日

1便で上京、朝6時半前に出る。9時半全国連合幹事会に間に合う為には1便そして東京駅からタクシーでギリギリ、セーフである。

☆全国連合常任幹事会

海外視察で、前回の幹事会県連代表者会議欠席している為、幹事長の経過報告メモ取りながら聞く、吉田参議員も加わり党首を先頭に一枚岩となり頑張っていくことを改めて確認する。

熱を帯びてきている民主党党首選、深刻な円高、下落し続ける米価、概算要求など大事な時に政治空白を黙って放置することにはならず、休会中審査を求めてきた。参議院では7日、9日と決まり衆議院ははっきりせず、(5時前、農林水産委員会は8日と決まる)開催を求めていく。

党首選の結果次第では解散早まる状況にもなるし、党の再建計画をつくり、長期的、短期的にやらなければならない事を全党的に意思確認必要、今日の幹事会で「社民党再建計画プロジェクト」立ち上げ、そのメンバーに加わることになる。15日に初会合と決まるが、それまでに10年間の党勢現状わかる資料を準備し議論することになる。



☆自治体問題研究会

連立政権の下でこれまでの社会保障費2200億円の一律削減を廃止し、地方交付税の増額等、成果はでたが、離脱以降、選挙もあり研究会開催されずにきたことを反省し、月1回の研究会を重ねていくことを確認する。

今日は再建計画、自治体研究会など原則で基本的に一番大事な事を取り組んでいく事を確認され再出発のスタートの日になる。

海外調査から帰って始めて議会執務室出勤、資料整理荷物整理しているうち「華北新報」記者より海外調査取材入る。「労働基準監督署」「ハローワーク」などの職員で構成している全労働組合委員長の訪問受け意見交換。「日ロ協会」佐藤教授より訪口した結果の物流内容報告受け、ウラジオストックから2人が訪れる事となり、日程等受け入れ対応協議する。

農林水産常任委員会8日と決まり20分の質問時間となり、質問内容通告、レクの日程6日と決める。

9月3日

朝、新幹線7時で山形へ向かう。Aに山形駅まで迎え頼む。

☆山形県高齢者集会

「安心・信頼の社会保障制度を確立しよう。」をスローガンに各地区から200名以上参加し開催された。高齢者いじめ政策、特に「後期高齢者医療制度」に対する怒りが政権交代果たしたにも関わらず、廃止に向けた動きが見えない、連立政権で社会保障費増額などの成果、それ以上に「政治とカネ」「普天間問題」消費税論議など期待を裏切るような動きが続いている事に批判が多い。選挙戦になれば現職組合員より力を発揮する先輩達である。先輩達の発言は胸に響く。

☆山形県観光交流局

山形県バンコク経済交流の内容について、局長、課長、物流主査と意見交換。わざわざ時間をもってくれたことに感謝、EPA制度を活用し、積極的なプロモーション・・・その成果が少しずつ出てきている。山形は宮城、福島と連携しながら主力は「りんご」である。最近豚肉取引も多く希望多いが「口蹄疫」発生で、今は中止、先日の海外視察調査を報告しながら、コメが主食である各国に日本食文化を広める為、山形県産の輸出拡大も含めた情報をいただくようお願いする。

ロシアとの関係は10月20日から24日までハバロスクで商談会開催することで10社が訪口する事になっており、今、ロシアで10社との取引希望者を募集しているとの事。初



めての取組みでもあるが成功させたいと意欲的である。早速日口協会に連絡し協力、お願いする。

☆NPO知音



任意団体として立ち上げてから18年、NPO法人になって8年経過し、じみな運動でありながら順調に広がっている。「知音」は自治労運動でお世話になってきたYさんが主役である。工房「知音」に一度お邪魔したいと思っていたが、その思いが今日かなう。①使用食用油からのリサイクル「せっけん」つくりと普及②なたね油や使用済み食用油から自動車燃料化と普及③バイオマスイエネルギーの普及④太陽光発電及び普及⑤福祉活動⑥国際交流と、活動分野は環境をキーワードに広がってきている。会員も順調に増え学生、地元農家との協力体制も築いている。しかし、施設整備費など補助金はあるながらも追いつかない。ほとんどボランティアに近い運営内容であるが、Yさんの「きれいな水といのちを守る運動」から出発した事業は確実に広がっている。私もその場で会員になる。

☆山形地区選挙総括単組交流集会
選挙総括し交流会を開催するところは山形地区だけになっている。各地区で総括会議はやる

が単組交流会はない。前回の総選挙に続いての参加である。今は仕事の関係で組合内での交流も少なく仲間意識が薄い。仲間意識がなければ闘いにはならない。交流の場を多く企画するよう努力していく。総括会議、交流会そして2次会まで出席し自宅に着いたのは1時を廻る

9月4日

昨日遅かったので妻から起こされる。Aも寝ている。7時を廻っている。10時まで山形へ行かなければならず、急いでA運転で山形へ。高速道路降りた処で検問、私が後座席でシートベルト着用していない為、Aが運転違反1点、罰金はないが参った。

☆山形県労働組合総連合定期大会

支持政党が共産党であるが、社民党代表し出席する。民主党はメッセージを寄せていた。来賓挨拶終了後退席する。ナショナルセンターとして連合、それに対峙しての県労連、5000人組織拡大を掲げている。労働組合の組織比率が低下している中で運動の大きな柱にすえている。組合のない職場で厳しい環境の下で働く人達がほとんどの今、学ぶ点は多い。

☆吉村美栄子山形県知事後援会総会

吉村知事誕生し1年半経過した。久しぶりに逢う先輩達も多く交流会で席を廻りたかったが、平和友好祭が昼から始まっているので挨拶

した後退席する。知事は言う。政治言葉は理解しにくい。「いのちを守る」という言葉1つとっても難しい。しかし。「おばあちゃん、おじいちゃんを大事にすること。家族、地域の絆を大事にする事、これが命の尊さにつながる。と、・・・。「あったかい県政」を掲げる吉村知事らしい。今日は82歳の母から頂いた着物姿である。地元庄内町から会長はじめ4人出席して頂いた。

☆山形県平和友好祭

鮭川村エコーパーク会場である。各ロッジで分散会始まっている処に着く、夜の交流会に出席する。参加者は約50人と少ない。昔の青年部時代は1000人規模であった事を思い出す。今でも三者共闘で企画しているが、構成する社民党青対、社青同、平和センターの力が落ちてきている結果である。頑張っている仲間がつないでいる事に感謝。社民党代表を担っている私として申し訳なく、何とかしなければならないと思う。青年部運動から遠ざかっていたので参加して実情を知る。少ない中でも選挙区3区からY町を除いて参加者があった事は心強く思う。

9月5日

民主党の党首選、激しい一騎打ち、連日マスコミを騒がしている。NHK日曜討論も揃って主張しあう。朝8時半に匠工の会長Tさんが自宅

に来る。秋の研修旅行を国会見学と決まり日程等の相談である。地元の匠工は後継者もしっかりしている大工さんが多いし、「主婦の会」活動も活発である。日程は11月の第一日曜日、月曜日の1泊2日とし参加者募集に入る事にする。

今日から明日まで新入党員歓迎交流会である。この1年間で23名の仲間を迎えたが参加者は役員含めて19名と少ない。日曜日という関係もあるが・・・

会場は元社会
党伊藤運輸大臣の出身地船形町の「あゆっこ村」格安コテージであるが、新しくホテル並みである。「月山」「葉山」が一望され避暑地には最適である。全国連合より曾戸労働部長を招いて勉強会、夜はバーベキュー交流会である。「辻元議員の離党問題」「普天間問題」「社民党に入党して初めての選挙選、頑張ったのに組合員数より社民党得票数が少ない処もありがっかりした。」など議論は深夜延々と続く。こうした企画は少なく、年2回から3回は必要と役員の方々と話し合う。

